

加古川平成ロータリークラブ
 会長 好崎 泰州
 幹事 網本 徹也
 広報小委員長 河内 洋之
 2680 地区ガバナー 高瀬 英夫

例会日／毎水曜日 12:30～13:30・例会場／加古川プラザホテル
 事務局／加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館
 Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100
 ホームページ <http://k-heisei-rc-com> / Eメール heiseirc@basil.ocn.ne.jp



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021 年度 RI 会長 ホルガー・クナーケ

No. 1435 October 28、2020

例会プログラム

第 15 回 (10 月 28 日)

卓話

「世界初 銅入り光触媒について」

株式会社ケミカルテクノロジー
 代表取締役兼ブルネイ大学教授
 北村 透氏

例会当番 好崎

次週例会プログラム

(11 月 11 日)

卓話

「ロータリー財団月間に因んで」

宮宅勇二会員

次週例会当番 網本

前週例会報告

- ◇ ゲスト ライフサポーターズ合同会社 F P 黒佐 英世氏
- ◇ ビジター
- ◇ 出席率 会員数 17 名 出席数 8 名 欠席数 7 名 出席率 53.33%
 出席計算会員数 15 名 9 月 30 日 補正出席率 86.67%
- ◇ 欠席者 7 名 井上 清水 鈴木 鳥井 原田 藤田 松尾
- ◇ メークアップ



★ 会長の時間

★ 幹事報告

★ 卓話 黒佐 英世氏

RIテーマ ロータリーは機会の扉を開く

高瀬ガバナーより今年度の各クラブへ諮問事項は、ビジョン（長期計画）・危機管理マニュアルの作成です。
ビジョンに関しましては、10月度の理事会で決定いたしましたので今から説明を致します。
危機管理マニュアルに関しましては、地区のマニュアルに準ずることと対応したいと思います。

加古川平成ロータリークラブ 長期計画（2020～2025）

ビジョン

当クラブは、奉仕活動を通して自らの人間性を高め、活気にあふれる魅力的なクラブを目指し、地域社会に求められるようなクラブを目指す。

長期計画

① 会員増強

会員基盤の多様化を図り、2025年には25名を目指す。

- クラブ増強特別委員会（年代、在籍年次をミックスした組織）を作る。

② 奉仕の実践

- MY ROTARY 登録率 100%を目指す。
- 例会の Zoom 化などの IT 化を図り、出席率 100%を目指す。
- 2～3年ごとに地区補助金プロジェクトを行う。
- ロータリー財団・米山奨学会への寄付金率 100%を目指す。

2ヶ月に1度以上の「夜会（インフォーマル ミーティング）」を開き、入会年次の浅い会員にロータリーの中核的価値観などを共有する。

本日の幹事報告

※ 例会欠席の時は必ず事前に事務局へ連絡！

① 回覧します

- ・地区補助金プロジェクト見学訪問のご案内（柏原RC） 参加ご希望の方は事務局までお知らせください。
- ・中津平成RC週報

② 次週 11 月 4 日（水）の例会は、休会〔定款第 7 条第 1 節（d）〕となっております。お間違いのないようお願い致します。

SONG TODAY

四つのテスト

作曲 水谷 暢 宏

真実か どうか

みんなに 公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

世界ポリオデー：大きな達成に焦点

ロータリーによる 2020 年世界ポリオデー（10 月 24 日）の特別オンラインプログラムは、アフリカ地域のポリオフリー認定という、ポリオ根絶活動における歴史的達成事項にスポットライトを当てます。

パラリンピック選手で、今年のプログラムの共同ホストとなるアデ・アデピタン氏にとって、アフリカ地域でのポリオ根絶は特別な意味をもちます。幼少期にポリオにかかったアデピタン氏は、「私はナイジェリア生まれなので、この達成を心から嬉しく思う」と述べ、小さいときからこの日を待ち望んでいたと述べていました。

10 年前、全世界における野生型ポリオウイルスによる発症のうち、4 分の 3 はアフリカで起きていました。現在、10 億人以上が暮らすアフリカはポリオフリーとなっています。しかしアデピタン氏は、「根絶活動はまだ終わっていない」と警鐘を発し、全世界でのポリオ根絶という大きな目標の達成に精力的に取り組むことを訴えています。

同じく共同ホストを担うギータ・マネク氏（ロータリー財団管理委員）は、世界ポリオデーがロータリアンの意欲を高める特別な機会だと述べ、ポリオに終止符を打つために、ひたむきに根絶活動に取り組むロータリアンが世界中にいることを指摘しました。

共同の取り組み

ナイジェリアのポリオプラス委員長であるロータリアン、ツンジ・フンショ氏（Lekki Phase 1 ロータリークラブ会員）は、この快挙がアフリカの会員とリーダー、そして世界中の支援者によって成されたものであることを述べていました。

先日、『TIME』誌の 2020 年「世界で最も影響力がある 100 人」に選ばれたフンショ氏は、認識向上と資金調達のために無数のロータリアンがイベントを催し、政府への働きかけを行っていることを指摘します。「ポリオ根絶はまさに共同の取り組みです。この達成は私たち全員のものです」

ロータリーとその会員は、アフリカ地域でのポリオ根絶活動におよそ 8 億 9000 万ドルの寄付を行ってきました。これらの資金はポリオプラス補助金となり、サーベイランス、輸送、認識向上キャンペーン、NID（全国予防接種活動）に活用されます。

今年の世界ポリオデーの特別オンラインプログラムは、フェイスブックにて複数言語で配信され、日本では 10 月 24 日午前 8 時からの配信となる予定です。ビル&メリンダ・ゲイツ財団がスポンサーとなるこのプログラムでは、『TIME』誌の編集者であるジェフリー・クルーガー氏、TV ニュースのホスト役でロータリアンのマーク・ライト氏（米国、Seattle ロータリークラブ会員）、グラミー賞受賞歌手のアンジェリーク・キジョー氏が出演します。

2020 年の課題



2020 年は、100 万人以上の命を奪い、世界経済を震撼させている新型コロナウイルスへの言及なしに語ることができません。

グローバルアップデートでは、世界保健の専門家が、ロータリーと世界ポリオ根絶推進計画

（GPEI）の主要パートナーが今日までに築いてきたポリオ根絶活動のインフラが、新型コロナウイルスの世界的流行に対する対応においてどのように役

立てられているかについて話します。

WHO 事務局長付シニアアドバイザーであるブルース・アイルワード氏は、次のように述べます。「ポ

リオ根絶活動を通じて構築したインフラは、地域社会の関与と連携の方法、地域社会が実際に保健介入を行うための指導方法、疾病サーベイランスの方法など、ほかの多くの疾病に取り組む上で非常に重要な役割を果たしてきました」

グローバルアップデートのパネリストには、クリストファー・エリアス氏（ビル&メリンダ・ゲイツ財団グローバル開発部門長）、ヘンリエッタ H. フォア氏（UNICEF 事務局長）、レベッカ・マーティン氏（米国疾病対策センター、グローバルヘルスセンターディレクター）も含まれます。

エリアス氏は、世界にはほかにも伝染性の疾病が緊急的に流行しているものの、ロータリアンが常に支援してくれると話します。「ロータリアンは、ポリオキャンペーンで村の子どもたちに行った支援から学んだことを生かして、黄熱病やはしかのワクチンを子どもたちに届けています」

グローバルアップデートでは、ポリオ根絶のインフラに基づくパンデミックへの対応戦略についても紹介しています。エチオピアのポリオサーベイランスチームがコロナウイルスの症例を報告しているほか、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンでは、通常ポリオ対策に使用されている緊急活動センターがコロナウイルス対応に活用されています。

また、ナイジェリア・ボルノ州での予防接種活動で奮闘しているボランティアの保健ワーカーや、子どもたちをポリオから守るためにアフガニスタンで地域動員に尽力する人たちの様子を紹介するビデオも配信されます。

クルーガー氏は、ロータリー会員 3 名を含む「ポリオのパイオニア」たちと幼少期の経験について話します。これらのパイオニアは、1950 年代にジョナス・ソーク博士が開発したポリオワクチンの大規模試験に参加した、100 万人以上の子どもたちの中に含まれます。

今後のポリオとの闘い

ロータリーにおける目下の課題は、現在もポリオの発症が続いている 2 カ国（アフガニスタンとパキスタン）で、野生型ポリオウイルスを根絶することです。また、アフリカでは、ウイルスの再感染を防ぐために、定期予防接種を強化する必要があります。

ポリオを根絶するには、ポリオの常在国やハイリスク国で、毎年複数回の質の高い予防接種キャンペーンを実施しなければなりません。コロナウイルスの世界的流行の間は、医療従事者をコロナウイルスから守りつつ、ポリオに対する人びとの免疫力維持と、ポリオ感染の予防に努める必要があります。

ロータリーは、1985 年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、21 億ドル以上をポリオ根絶活動に投じてきました。現在、ビル&メリンダ・ゲイツ財団とのパートナーシップ（ロータリーからの寄付に対し、ゲイツ財団が 2 倍額を上乗せ）により、毎年 1 億 5000 万ドルが、ポリオ根絶という子どもたちとの約束を果たすために活用されます。